

第1章

アクアプラン川口21～第3次川口市水道ビジョン～ 川口市水道事業中長期経営計画の策定にあたり

第1章

1 策定の趣旨

「アクアプラン川口21～第2次川口市地域水道ビジョン～」は、川口市水道事業が目指す理想の姿と、これを実現するための道筋を明らかにするために、平成25年に策定した中長期経営計画です。

策定から6年が経過し、この間に上位計画である「第5次川口市総合計画」や「川口市まち・ひと・しごと創生総合戦略」が新たに策定されるなど、本市行政においても、日々変化する社会環境に対応してきました。

今日の水道事業は、人口減少社会の到来や生活様式の変化に伴う給水収益の減少、水道施設の老朽化の進行などの課題に直面しています。さらに、近年の自然災害は、各地の水道施設に大きな被害をもたらしており、危機管理体制の整備、水道施設の耐震化など、自然災害におけるあらゆる状況を想定した事業の推進が重要です。

これらの課題を解決するため、川口市水道事業の基本理念と新たな将来目標を示した「アクアプラン川口21～第3次川口市水道ビジョン～」を策定するものです。

2 計画の位置づけ

「アクアプラン川口21～第3次川口市水道ビジョン～」は、上位計画である「第5次川口市総合計画」の「災害に強く、いつでも安心して上下水道を利用できる環境をつくるとともに、安全な水道水の提供と、公共用水域の水質保全を推進します。」を基本方針に、川口市水道事業の目指すべき方向性を示したものであり、平成25年3月に厚生労働省が策定した「新水道ビジョン¹」を踏まえた中長期経営計画として位置づけています。

また、本計画は、経営健全化における取組み、施策・事業を具体化するための目標数値、施設更新基本計画²を基礎とした施設の整備計画および投資と財源を明らかにした投資・財政計画を盛り込んでいます。これは、総務省が策定を要請している「経営戦略³」に位置づけられるものです。

- 1 新水道ビジョン 新水道ビジョンは、50年後、100年後の将来を見据え水道の理想像を示すとともに、その理想像を具現化するために水道事業者のみならず、行政機関や民間企業、水道の関連団体など幅広い関係者が、今後取り組むべき事項、方策を提示しています。
- 2 施設更新基本計画 施設の更新時期のほか、ダウンサイジングや統廃合も視野に入れ、将来的に適正な施設規模とすることで効率的な運転管理、更新費用の抑制などを図るために、平成29年2月に策定した施設整備のあり方を定めた基本計画です。
- 3 経営戦略 将来にわたって安定的に事業を継続していくために、中長期的視点に立って策定する基本計画のことで、原則、全ての公営企業が平成32年度までに、その策定を要請されています。（第6章参照）



第1章 アクアプラン川口21～第3次川口市水道ビジョン～
川口市水道事業中長期経営計画の策定にあたり

3 計画期間

「アクアプラン川口21～第2次川口市地域水道ビジョン～」は、計画期間を平成25年度から平成34年度までとしていましたが、「第5次川口市総合計画」や「施設更新基本計画」を反映するとともに、中長期的な経営の基本計画である「経営戦略」の内容を併せ持つ事業計画を新たに策定するため、平成30年度までで終了とし、平成31年度から「アクアプラン川口21～第3次川口市水道ビジョン～」に移行します。計画目標年度は、平成40年度までの10年間としています。

また、中期経営計画の実施にあたっては、計画期間を第1期（平成31年度～平成33年度）、第2期（平成34年度～平成36年度）、第3期（平成37年度～平成40年度）の3期に区分し、各期の進捗管理を行います。

図表 1-1 計画期間

